

# HEAD RUSH

P E D A L B O A R D

ユーザーガイド

日本語

## もくじ

はじめに .....	3	エフェクターの調整 .....	15
パッケージに含まれるもの .....	3	エフェクターの調整の概要 .....	15
サポート .....	3	パラメーター .....	16
機能について .....	4	Amp .....	16
トップパネル .....	4	Cab .....	16
リアパネル .....	5	エフェクト .....	17
セットアップ .....	7	In .....	17
オペレーション .....	8	Out .....	18
メインスクリーン .....	8	Mix .....	18
概要 .....	8	プリセットの保存 .....	18
基本的なオペレーション .....	9	ハードウェア・アサイン .....	19
リバーブ/ディレイ・テールスピルオーバー .....	9	フットスイッチ .....	20
シグナル・パス .....	10	クイックパラメーター .....	20
ステレオvs. モノ .....	11	エクスプレッションペダル .....	21
モード .....	12	SETLIST (セットリスト) .....	22
STOMPモード .....	12	HANDS-FREE MODE (ハンズフリー・モード)	23
RIGモード .....	12	.....	23
HYBRIDモード .....	12	LOOPER (ルーパー) .....	23
SETLISTモード .....	12	GLOBAL SETTINGS (グローバル・セッティン	25
RIG (リグ) .....	13	グ) .....	25
新しいRIGを作成する .....	13	USB .....	27
シグナルチェーンの最適化 .....	14	ファイルとセッティングの転送 .....	27
RIGの保存 .....	14	レコーディング .....	28
RIGの削除 .....	14	リアンプ .....	28
		技術仕様 .....	29
		商標およびライセンス .....	29

## はじめに

パーフェクトなトーンはタッチするだけです。

HeadRush Pedalboardをお買い上げ頂きましてありがとうございます！

HeadRush Pedalboardは精巧にチューニングされたクアッドコアDSPシステムを搭載し、独自のEleven® HD拡張プラットフォームを搭載しています。フロアボード・ギタープロセッサーでもっとも多用途でリアリスティックなサウンドがするアンプ、キャビネット、マイク、エフェクトモデルを提供します。

HeadRush Pedalboardは独自のカスタム・インパルスレスポンス (IR) ファイルを読み込むことができるだけでなく、他では見られない独自のオリジナル・プティックエフェクトを含むビンテージとモダンなアンプ & エフェクトのモデルを幅広く提供します。他のギタープロセッサーでは見られない独自の機能もあります。ディレイ/リバーブテール・スピルオーバーによるギャップの無いプリセット・スイッチが可能であり、最大20分の録音時間を持つルーパー、または追加した逆の順序でループプレイヤーを剥がすことも可能です。

HeadRush Pedalboardの心臓部は、7インチ・タッチディスプレイとそのギタリスト指向のユーザーインターフェイスを使用し、タッチ、スワイプ、ドラッグ & ドロップを行うことで リグを瞬時に作成、エディットすることができます。またハンズフリー・モードを使用して音色をわずかな変更を行った場合、大型ディスプレイにはライブではっきりとしたフィードバックを表示します。

そう、あともう一つ、これはパラメーターを11にします。

## パッケージに含まれるもの

HeadRush Pedalboard 本体USB

ケーブル

電源ケーブル

ソフトウェアダウンロード・カード

ユーザーガイド

Quickstart Guide (英文)

Safety & Warranty Manual (英文)

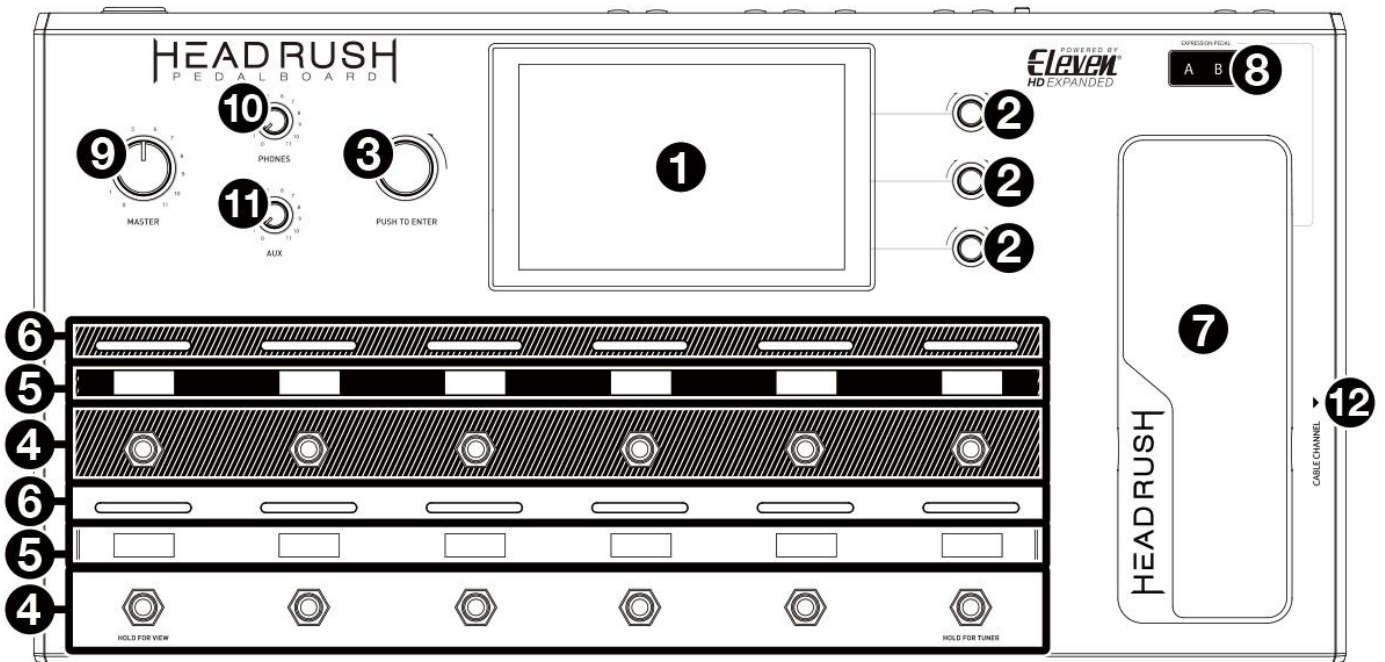
## サポート

この製品に関する最新情報 (マニュアル、技術仕様、動作必要要件、互換性情報)、製品登録については、[inmusicbrands.jp/headrush](http://inmusicbrands.jp/headrush)をご覧ください。

# HEADRUSH

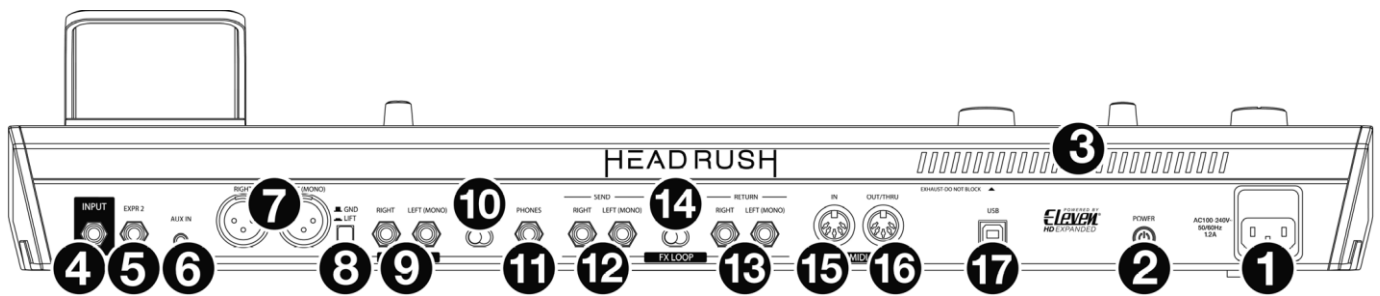
## 機能について

### トップパネル



1. **メインディスプレイ:** フルカラー・マルチタッチディスプレイはHeadRush Pedalboardの仕様中の操作に関する情報を表示します。ディスプレイをタッチ(ハードウェア・コントロール)を使用してインターフェイスをコントロールすることができます。どのように動作するかについては、[操作 > メインスクリーン](#)を参照してください。
2. **パラメーター・ノブ:** メインディスプレイに表示されているパラメーターや設定を調整することができます。
3. **エンコーダー:** 使用可能なメニューオプションをスクロールしたり、ディスプレイ内の選択したフィールドのパラメーター値を調整することができます。エンコーダーを押すことで選択した内容を確定させることができます。
4. **フットスイッチ:** フットスイッチを押してアサインしたモデルのオン/オフを切り替え、アサインしたリグをロードし、チューナーを起動、ビュー([オペレーション > ビュー](#)を参照)、ハンズフリーモードへのエントリー([オペレーション > Hハンズフリー・モード](#)を参照)、またはリグのテンポの変更に使用することができます。
5. **フットスイッチ・ディスプレイ:** このディスプレイ・ストリップは、モデル、リグ、セットリスト、アサイン、コントロール、または各フットスイッチにアサインされた選択しを表示します。
6. **フットスイッチ・インジケーター:** 各フットスイッチに割り当てられたモデル、またはリグがオン(明るく点灯)、またはオフ(薄暗く点灯)であることを表示します。
7. **エクスペッションペダル:** このペダルを使用して、アサインしたパラメーターを調整することができます。詳細については、[オペレーション > ハードウェア・アサイン > エクスペッションペダル](#)を参照してください。
8. **エクスペッションペダル・ステータスLED:** エクスペッションペダルの現在の状態を表示します。詳細については、[オペレーション > ハードウェア・アサイン > エクスペッションペダル](#)を参照してください。
9. **マスターボリューム:** 出力ボリュームの調整を行ないます。
10. **フォン・ボリューム:** ヘッドホン出力ボリュームの調整を行ないます。
11. **Aux ボリューム:** Aux入力ボリューム調整を行ないます。  
**重要:** Aux入力からのオーディオ信号は、モデリングを適用せずにHeadRush Pedalboardの出力に直接ルーティングされます。マスターボリューム、またはフォンボリューム・ノブの影響も受けません。
12. **ケーブルチャンネル:** HeadRush Pedalboardの下にあるくぼみの下にケーブルを通し、ステージ上の邪魔にならないようにし、ケーブル周りをすっきりさせます。

## リアパネル



1. **電源入力 (IEC)**: 同梱の電源ケーブルを使用してこの入力をコンセントに接続してください。
2. **電源スイッチ**: このボタンを押してHeadRush Pedalboardの電源をオンにします。HeadRush Pedalboardの電源をオフにするには、このボタンを押し続けてください。
3. **通気口**: HeadRush Pedalboardを使用しているときにこの通気口をふさがないようにご注意ください。
4. **ギター入力** (1/4"/6.35 mm、TS): 標準のインストゥルメント・ケーブルを使用してギターを接続してください。
5. **エクスプレッションペダル入力** (1/4"/6.35 mm、TRS): オプションのセカンダリー・エクスプレッションペダルを標準のインストゥルメント・ケーブルを使用して接続してください。ここに接続したエクスプレッションペダルで、ペダルBに割り当てられたパラメーターをコントロールできます。この場合、本体のエクスプレッションペダルは、ペダルAとしてのみ機能します。
6. **Aux入力** (1/8"/3.5 mm、TRS): オプションのオーディオソース(スマートフォン、タブレットなど)の出力を1/8"/3.5 mm ステレオケーブルを使用して接続してください。
7. **出力 (XLR)**: この出力をミキサーやアクティブ・スピーカーなどの入力に接続してください。1つの出力のみを使用する場合は、L/Monoとラベリングされている出力を使用してください。これらの出力からの信号にハムやノイズが発生した場合、**グラウンドリフト・スイッチ**を使用してみてください。
8. **グラウンドリフト・スイッチ**: このスイッチを操作する(押し下げる)とXLR出力から信号のハムまたはノイズを減少させます。
9. **出力** (1/4"/6.35 mm、TRS): アンプやオーディオインターフェイス等の入力に接続してください。状況に応じて**アンプ/ライン・セレクター**を適切なポジションに設定してください。1つの出力のみを使用する場合は、L/Monoとラベリングされている出力を使用してください。
10. **アンプ/ライン・セレクター**: 1/4"/6.35 mm の出力から送られる信号のレベルを選択します。アンプに設定すると標準的なギターアンプに適した出力レベルの+6 dBuになります。ラインに設定すると、ラインレベルの +18 dBuになります。
11. **ヘッドホン出力** (1/4"/6.35 mm、TRS): 標準の1/4" (6.35 mm)ステレオ・ヘッドホンをこの端子に接続してください。**PHONEボリューム**を使用してボリュームを調整してください。
12. **SEND出力** (1/4"/6.35 mm、TRS): これらの出力を別のエフェクトモジュール、エフェクトペダル、アンプのエフェクトループ・リターンのに接続してください。**ラック/ストップ・セレクター**を接続機器に合わせて設定してください。1つの出力のみを使用する場合は、“L/Mono”端子を使用してください。グローバル・セッティング画面でFX-Loop Stereo設定を使用して出力信号がモノラルかステレオかを決めることができます。(詳細については、[オペレーション](#) > [グローバル・セッティング](#) > [オーディオ・コンフィグレーション](#)を参照してください。)
13. **リターン入力** (1/4"/6.35 mm、TRS) : これらの入力を別のエフェクトモジュール、エフェクトペダル、アンプのエフェクトループ・SENDのに接続してください。**ラック/ストップ・セレクター**を接続機器に合わせて設定してください。1つの出力のみを使用する場合は、“L/Mono”端子を使用してください。グローバル・セッティング画面でFX-Loop Stereo設定を使用して出力信号がモノラルかステレオかを決めることができます。(詳細については、[オペレーション](#) > [グローバル・セッティング](#) > [オーディオ・コンフィグレーション](#)を参照してください。)

FX SEND & リターンを使用して、ハードウェア・ギターペダルや、ラックエフェクト、その他の外部ギアを連結することがで

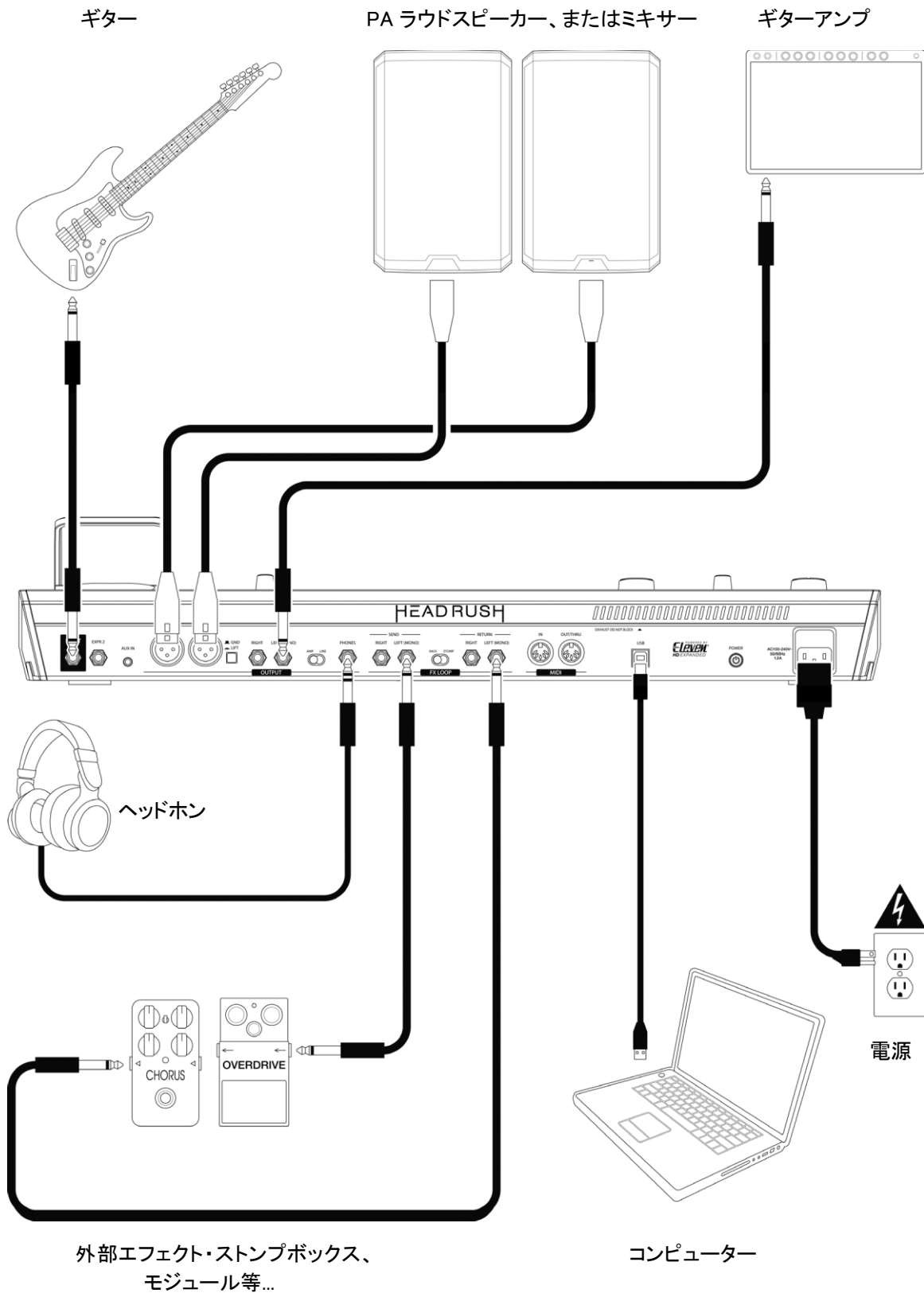
## HEADRUSH

きます。FX-Loopブロックを使って、HeadRush Pedalboard内のシグナルチェーンの任意のポイントでセンド&リターンを配置可能で、簡単にそれをオン・オフできます。

14. **ラック/ストンプ・セレクター**:このスイッチを使用して外部デバイスのリターン入力(エフェクトモジュール、エフェクトペダルなど)に送られる信号のレベルを選択してください。**ラック**に設定すると、出力レベルはラインレベル(+18 dBu)になります。**ストンプ**に設定すると、出力レベルは、ギターペダル(ストンプボックス)の用に“+6 dBu”になります。
15. **MIDI入力**(5-pin DIN): この端子と外部MIDIデバイスのMIDI出力を接続するには、標準のMIDIケーブルを使用してください。
16. **MIDI 出力/スルー**(5-pin DIN): 標準MIDIケーブルを使用して、この出力から外部MIDIデバイスのMIDI入力に接続してください。この出力は、標準のMIDI出力またはMIDIスルーとして設定可能です。(詳細については、[オペレーション](#) > [グローバル・セッティング](#) > [MIDIセッティング](#)を参照してください。)
17. **USBポート**: 標準のUSBケーブルを使用してこのポートとコンピューターを接続することができます。この接続により、HeadRush Pedalboardは、コンピューターとの間でデジタル・オーディオ信号を送受信できるようになります。また、この接続では、リグ、モデルプリセット、セッティングリスト、インパルスレスポンス(IR)ファイルをインポート/エクスポートすることもできるようになります。この接続はファームウェアのアップデートにも使用することができます。

## セットアップ

はじめに > パッケージに含まれるもの に記載されていないものは別売です。



## オペレーション

この章は、HeadRush Pedalboardの機能について説明します。

### メインスクリーン

#### 概要

タップしてリグを名称で検索可能です。

セットリストを表示します。

このバーをタップし、下にドラッグするとリグのリストを表示します。

リグネーム

リグを保存するためにここをタップします。

他のオプションをタップ。

画面内の選択可能な項目を移動したりパラメーターを調整するためにこのエンコーダーを使用します。エンター・コマンドとしてエンコーダーを押してください。

PUSH TO ENTER

モデルをダブルタップするとそのパラメーター表示/非表示させます。

フットスイッチをタップしてオン/オフを切り替えます。

パラメーター・ノブを回してパラメーターを調整します。モデルが選択されている場合、この列の任意の場所をタップすると次の3つのパラメーターが表示されます。

001 SEARING LEAD

SAVE

DRIVE 100%

HI TONE 73%

LEVEL 75%

IN

A VOLUME

PARA EQ

GRAY COMP

GREEN JRC OD

B SHINE WAH

FLANGER

8-BIT CRUSH

AIR FILTER

STEREO DOUBLER

OUT



## 基本的なオペレーション

**重要:** シグナルチェーンのモデルの配列は必ずしもフットスイッチ反映されません。シグナルチェーンを変更することなく自由にモデルを使用可能なフットスイッチに割り当てることができます。これについては、[ハードウェアのアサイン](#)を参照してください。

モデル(amp, cab, effect)を空のスロットにアサインするには、(+) をタップして表示されるリストを使用してください。詳細については、[リグ > リグの作成](#)を参照してください。

モデルのパラメーターを右端に表示するには、モデルをタップしてモデルの縁がグリーンで囲まれるようにしてください。次にパラメーターノブを回してパラメーターを調整してください。これら3つのパラメーターの列のどこかをタップすると、次の3つのパラメーターが表示されます。(モデルに3つ以上のパラメーターがある場合)

モデルが選択されていない場合、これらのパラメーターは、[ハードウェア・アサイン](#) 画面でアサインしたパラメーターになります。

モデルのセッティング画面を表示するには、そのモデルをダブルタップしてください。そのセッティング画面にはプリセットメニュー、パラメーター、アサインされた色が表示されます。

モデルの有効/無効を切り替えるには、アサインしたフットスイッチを押すか、ディスプレイのフットスイッチをタップしてください。

アンプやキャビネットをデュアル、シングルの間で切り替えるには、その隣にある2Xボタンをタップしてください。

別のリグ(プリセット)をロードするには、次のいずれかの操作を行ってください。:

- 左上 (Rig ▲)、または左下 (Rig ▼) フットスイッチを押して直前/後のリグをすぐにロードすることができます。
- 画面上のリグ名をタップし、隣にある◀ または ▶ をタップしてください。
- 画面上のリグ名をタップし、エンコーダーをまわしてください。
- 左上隅の虫眼鏡アイコンをタップし、表示されるバーチャルキーボードを使用して検索ワード(リグ名の一部など)を入力してください。

新しいリグを作成するには、右上隅の●●● ボタンをタップし、“New Rig”をタップしてください。

現在のリグを削除するには、右上隅の●●● をタップし、“Delete Rig”をタップ、そしてタップするには“Yes”、キャンセルするには“No”をタップしてください。

## リバーブ/ディレイ・テールスピルオーバー

リバーブ、またはディレイ・エフェクトをリグにアクティブにしてから別のリグに切り替えると、リバーブ、またはディレイは2番目のリグに切り替わった後も減衰し続けます。

エフェクトループを使用している場合やUSBオーディオを使用している場合は、この機能は使用できません。

現在のリグでこの機能の有効/無効を切り替えるには、メイン画面で“Tail”をタップしてください。または左上の (Rig▲) フットスイッチを1秒間押し続けてください。



シグナルチェーン内のモデルを置き換える場合には、モデルをタップして別のスロット、またはほかの2つのモデル間でドラッグしてください(その位置の後ろにあるものは、シグナルチェーンの1つ下のスロットに移動されます)。

TAIL

TAIL

# HEADRUSH

## シグナル・パス

シグナルチェーンの経路(パス)簡単に再構成してより複雑なルーティングを作成することができます。

シグナル・パスを再設定するには、メイン画面の下にある ■■■■ をタップしてください。アイコンは、以下に示すように現在のシグナルパス合わせて変更されます。



この直線的なシグナルパスがデフォルトでありもっとも一般的です。



このシグナルパスは途中で分割され、最終段の近くで再結合されます。この設定は、2種類のエフェクト(またエフェクトチェーン)を使用したいが、信号を別々に分けたい場合に便利です。

スプリットパスをミックスする方法については、[セッティングの調整 > パラメーター > ミックス](#)を参照してください。



このシグナルパスはソースからすぐに分割され、最終段の近くで再結合されます。2番目の設定と同様に、これは2種類のエフェクト(またエフェクトチェーン)を別々に使用したい場合に便利です。分割したパスと再結合されたモデルでより多くのモデルを使用することができます。

スプリットパスをミックスする方法については、[セッティングの調整 > パラメーター > ミックス](#)を参照してください。

## ステレオvs. モノ

HeadRush Pedalboardからの出力信号は、リグのモデル、シグナルパス、そして使用している出力に応じてモノラル、またはステレオに設定することができます。シグナルパスの終わり付近のインジケーターは、使用中のセッティングを表示します。

以下のいずれかの操作を行うとシグナルは**ステレオ**になります。:

- シグナルチェーンには、その後にモノラルのエフェクトモデルを使用するとしてもステレオのエフェクトモデルを使用する。(ステレオシグナルの後ろではモノラルエフェクトが両方のチャンネルに同じように適用され、合計されないののでこのような処理が可能になります)
- スプリット(分割)されたパスがアウトプットの前で再結合されてもスプリットしたシグナルパスを使用します。
- ダブルアンプ、ダブルキャビ設定でご使用ください。(例: **2X がオン**)

以下の**すべて**操作を行うとシグナルは**モノラル**になります。:

- シグナルチェーンにステレオのエフェクトモデルを使用しない。
- シグナルパスを(スプリットではなく)リニアを使用する。
- アンプモデル、キャビネットモデルを使用する場合、シングルアンプ、シングルキャビネット設定を使用してください。



また、以下のいずれかの操作を行うとシグナルはモノラルになります。:

- 出力は、リアパネルのL/Mono outputのみを使用する。
- Rig Widthの出力設定を0%にする。

ステレオフィールドの幅を調整するには、シグナルパスの終わりにある“Out”アイコンをタップして、3番目のパラメーターの部を回してRig Width出力設定を調整してください。これはステレオシグナルのみに影響し、モノラルシグナルには影響しません。100%は完全なステレオフィールドを使用し、0%は、モノラル信号を生成します。

# HEADRUSH

## モード

中央の8つのフットスイッチを使用して、モデル(アンプ、キャビ、エフェクト)のオン/オフ、リグやセットリストを選択することができます。これらのフットスイッチは常に、**STOMPモード**、**RIGモード**、**HYBRIDモード**、**SETLISTモード**の4種類のいずれかを表示しています。

モードを変更するには:

1. ディスプレイにExitと表示されるまで左下のフットスイッチを押し続けてください。隣り合う4つのフットスイッチは、現在の4つのモードに対応しています。  
**STOMP、RIG、HYBRID、SETLIST**
2. フットスイッチを押してそのモードに入ります。

## STOMPモード

中段の8つのフットスイッチは、シグナルチェーンのモデル(アンプ、キャビ、エフェクト)に対応しています。フットスイッチを押してモデルをオン/オフにします。

Rig ▲	Model 1	Model 2	Model 3	Model 4	Looper
Rig ▼	Model 5	Model 6	Model 7	Model 8	Tuner

## RIGモード

中段の8つのフットスイッチは、保存したリグに対応しています。フットスイッチを押してリグをロードします。

次、または前の4つのリグを表示するには、左上(**Bank ▲**)、または左下(**Bank ▼**)フットスイッチを押してください。

Bank ▲	Rig 1	Rig 2	Rig 3	Rig 4	Looper
Bank ▼	Rig 5	Rig 6	Rig 7	Rig 8	Tuner

## HYBRIDモード

上部中央の4つのフットスイッチは、保存したリグに対応しています。これらのフットスイッチを押してリグをロードすることができます。

下段中央の4つのフットスイッチは、モデル(アンプ、キャビ、エフェクト)をシグナルチェーンに加えます。

フットスイッチの1つを押してそのモデルをオン/オフ

Bank ▲	Rig 1	Rig 2	Rig 3	Rig 4	Looper
Bank ▼	Model 1	Model 2	Model 3	Model 4	Tuner

させます。

## SETLISTモード

中段の8つのフットスイッチは、保存したセットリストに対応しています。フットスイッチを押してセットリストをロードします。

Bank ▲	Rig 1	Rig 2	Rig 3	Rig 4	Looper
Bank ▼	Setlist 5	Setlist 6	Setlist 7	Setlist 8	

## RIG (リグ)

HeadRush Pedalboardを使用しているときは、リグはプリセットです：アサインしたモデルの組み合わせ(アンプ、キャビ、エフェクト)と、それぞれのパラメーター設定が含まれています。リグを作成、編集、保存、ロードすることができ、パフォーマンスの各パートでの使用に完璧なサウンドを完璧に呼び出すことができます。

各リグには11スロットが用意されており、それぞれに1つのモデル(アンプ、キャビ、エフェクト)をアサインする事ができます。例外は、スロットがデュアル設定(2Xボタンが有効になっているとき)でアンプやキャビを使用している場合です。

アサインされたスロットにはモデルのグラフィックが表示され、空のスロットには+マークが表示されます。

### 新しいRIGを作成する

新しいリグを作成するには、画面右上隅の●●●をタップし、“New Rig”をタップしてください。

モデル(アンプ、キャビ、エフェクト)を空きスロットにアサインするには：

1. 空きスロット(+)をタップしてください。
2. 表示されるリストのアサインしたいモデルのタイプをタップしてください。：アンプ、キャビ、エフェクト(カスタムIR、ディストーション、ダイナミクス/EQ、モジュレーション、リバーブ/ディレイ、FXループ、エクスプレッション)
3. 表示されているリストの使用したいモデルをタップしてください。
4. 表示される次のリストでそのモデルにロードするプリセットをタップしてください。

隣接するスロットが空いているスロットにアンプ、またはキャビをロードすると最初に選択可能なキャビ、またはアンプがもう一方のスロットに自動的にロードされます。その後、シグナルチェーンでシグナルを分割したり、アンプやキャビのタイプを変更したり、各モデルを個別に削除したりすることができます。



モデルタイプ：アンプ、キャビ、エフェクト

各モデルのプリセット

各タイプに対応したモデル

## シグナルチェーンの最適化

シグナルチェーンとは、ギターからのオーディオシグナルが選択したモデルを通り、HeadRush Pedalboardのアウトプットで終わるパス(経路)です。タッチスクリーンを使用して、選択したモデルをお好みの順序に並べ替えることができますが、一部の設定は、他の設定よりも優れていることがあります。

HeadRush Pedalboardで素晴らしいリグを作成するための一般的なモデルの配置の提案をいくつか示します。

- シグナルチェーンの最初には、ダイナミクス(コンプレッサーなど)、フィルター(ワウやピッチシフター)それとボリュームペダルを配置します。またはシグナルチェーンの最後にボリュームペダルを置くことで機能にわずかな変化を与えることができます。
- ゲインベースのエフェクト(オーバードライブ、ディストーション、ファズなど)は通常、次に接続します。
- イコライザー(EQ))は、オーバードライブやディストラクション、ファズのトーンを整えるために使用する場合が多いので、後ろにEQを接続します。または、ゲインペダルの前にギターのトーンの不要部分をカットするために前に接続する場合があります。
- 通常は、次にフランジャー、フェイザー、コーラスなどのモジュレーション・エフェクトを配置します。
- ディレイ、リバーブなどのタイムベースのエフェクトは一般的にシグナルチェーンの終わり近くに配置します。
- アンプとキャビネット(キャビ)は、シグナルチェーンの最後に配置するのが一般的ですが、どこにでも配置することができます。

## RIGの保存

リグに変更を加えた場合、画面上部にアスタリスク(\*)が表示され、リグに何らかの変更を加えたことを表示し、それを保存できるようになります。

001 SEARING LEAD\*

次のいずれかの操作を行った場合、アスタリスクが表示されます。:

- リグにモデルをアサインした場合。
- リグからモデルを削除した場合。
- シグナルチェーン内のモデルを移動させた場合。
- モデルのプリセットを変更した場合。(詳細については、[セッティングの調整](#)を参照してください)
- ハードウェアアサイン画面で変更を行った場合。(詳細については[ハードウェア・アサイン](#)を参照してください)

モデルを有効、無効にする、任意の画面でパラメーター・ノブを使用する、または任意の画面でエクスプレッション・ペダルを使用してもアスタリスクは表示されません。

これらの変更をリグに保存したり、別のリグとして保存したり、すべてを破棄することができます。

アスタリスクが表示された状況で別のリグをロードしようとするると次のいずれかのオプションを選択するように求められます。:

**Cancel:** 現在のリグを保存せずに新しいリグをロード、または前の画面に戻ります。

**Discard Changes:** 以前のリグの変更を保存せずに新しいリグをロードします。

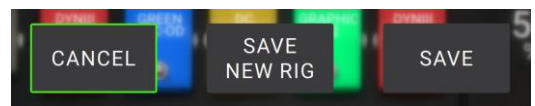
**Save as a New Rig:** 現在のリグを新しいリグとして保存します。画面が表示されたら、表示されたキーボードを使用して名称を入力し、“Save”をタップしてください。そのリグが保存され、新しいリグがロードされます。

**Save Changes to Rig:** リグに行った変更を保存し、新しいリグを保存します。

リグを保存するには、右上隅にある“Save”をタップしてください。

現在のリグに変更を保存するには、“Save”をタップしてください。

変更を新しいリグとして保存するには“Save New Rig”をタップし、表示されたキーボードを使用して名称を入力し、“Save”をタップしてください。



保存せずに前の画面に戻るには、“Cancel”をタップしてください。

リグの名称を変更するには、右上隅の●●● ボタンをタップし、“Edit Rig Name”をタップしてください。

リグに加えた変更を破棄するには、右上隅の●●● ボタンをタップし、“Discard Changes”をタップしてください。

## RIGの削除

現在のリグを削除するには、右上隅の●●● ボタンをタップし、“Delete Rig”をタップし、続けるには“Yes”、やめるには“No”をタップしてください。

## エフェクターの調整

リグ内のアイテムの設定を調整するには、そのアイテムをダブルタップしてセッティング画面を開きます。任意のモデル（アンプ、キャビネット、エフェクト）、入力（イン/ロックアイコン）、出力（アウトアイコン）、またはミックス（ミックスアイコン）のセッティングを調整することができます。

### エフェクターの調整の概要

変更を保存してメイン画面に戻るには◀をタップしてください。

このボタンをタップして、“Discard Changes”をタップすると、この画面を開いてから行った変更は破棄されます。

プリセットメニューをタップしてプリセットを選択 プリセットの保存をご参照ください。

画面上の選択可能な項目を移動したり、パラメーターを調整するには、エンコーダーを回してください。エンターコマンドの入力にはエンコーダーを押してください。

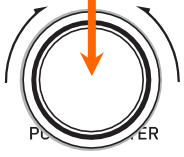
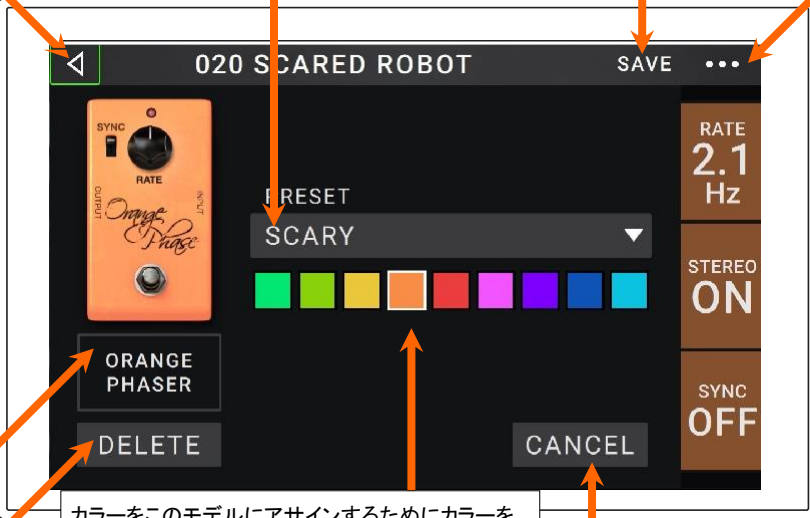





PLATE  
ENCODER



モデル名をタップすると別のモデルをこのスロットにアサイン可能です。

“Delete”をタップして、モデルをこのスロットから削除します。

カラーをこのモデルにアサインするためにカラーをタップしてください。そのカラーは、メイン画面、ハードウェアアサイン画面、このモデルのフットスイッチ・インジケーターに表示されます。

“Cancel”をタップして 変更を破棄し、メイン画面に戻ります。

パラメーター・ノブを回してパラメーターを調整します。この列の任意の場所をタップすると、(もしある場合は) 次の3つのパラメーターを表示します。

## パラメーター

これらは、リグ内のアイテムのタイプごとに調整できるパラメーターの一部です。アンプ、キャビ、エフェクト、入出力セッティング、ミックスセッティングが含まれています。パラメーターを調整した後にプリセットを保存するには、[プリセットの保存](#) を参照してください。

### Amp

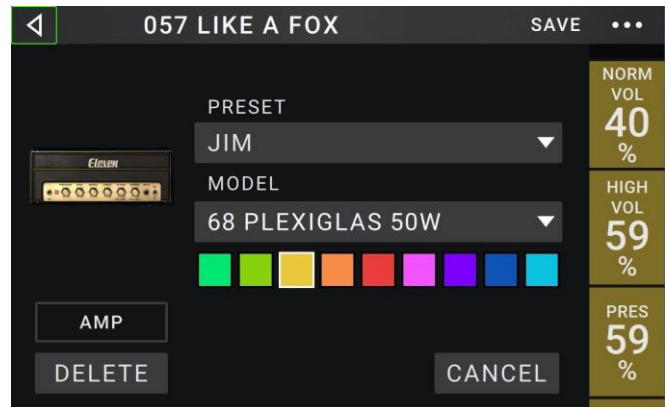
アンプ・カテゴリーは、人気のあるアンプのリストです。

**Preset:** 現在のアンプのプリセットであり、モデル、すべてのセッティング、カラー・アサインが含まれます。

**Model:** アンプ・モデルです。

**Amp Settings:** 選択したアンプモデルのセッティングです（モデルによってはセッティング数が多い場合と少ない場合があります）。

**Color:** これはアサインしたカラーをハードウェアアサイン画面に表示され、アンプがスイッチにアサインされている場合は、スイッチ・インジケータに表示されます。



### Cab

キャビ・カテゴリーは、スピーカーを含む一般的なアンプ・キャビネットのリストです。HeadRush Pedalboardは、キャビネットのサウンドだけでなく、レコーディングするマイクのタイプも再現しています。

**Preset:** これはモデル、そのすべての設定、そしてカラーアサインを含む現在のキャビのプリセットです。

**Cab Type:** キャビのタイプを選択します。\_X\_と記されている数字は、それが持つスピーカーの数とサイズを表示しています（例：2X12は、2基の12インチスピーカーを備えたキャビネットを表し、4X10は、4基の10インチスピーカーを備えたキャビを示しています）。Wと表記された数字は、エミュレートしているスピーカーのワット数を（出力パワー）を示しています。

**Mic Type:** キャビに使用しているマイクのタイプです。ダイナミック（Dyn）、コンデンサー（Cond）、リボン（Ribbon）マイクの様々なモデルを選択可能です。

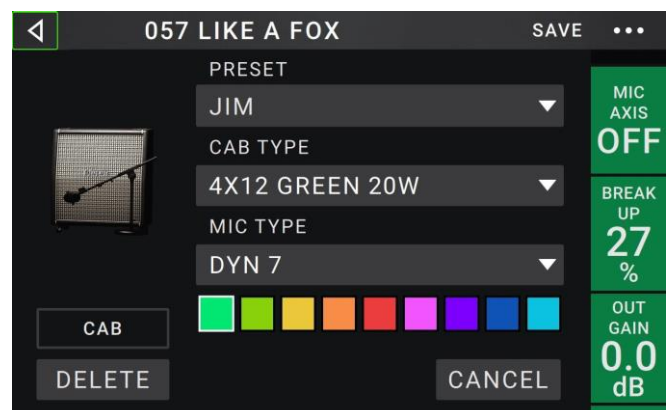
**Mic Settings:** マイクの設定は以下の通りです。:

**Break Up:** スピーカーの“ブレイクアップ”量を設定します。これはオーディオ信号が、スピーカーをオーバードライブする時に発生するナチュラルな歪みです。

**On-Axis:** キャビに対するマイクの位置を決定します。On-axis (On) は、マイクをスピーカーの中央に配置します。Off-axis (Off) は、スピーカーの中心から少し外れ、On-axisに比べて音が少し暗くなる場合があります。

**Out Gain:** キャビの出力ゲインレベルです。

**Color:** アサインされたカラーでハードウェアアサイン画面に表示され、キャビがスイッチにアサインされている場合はスイッチインジケータに表示されます。

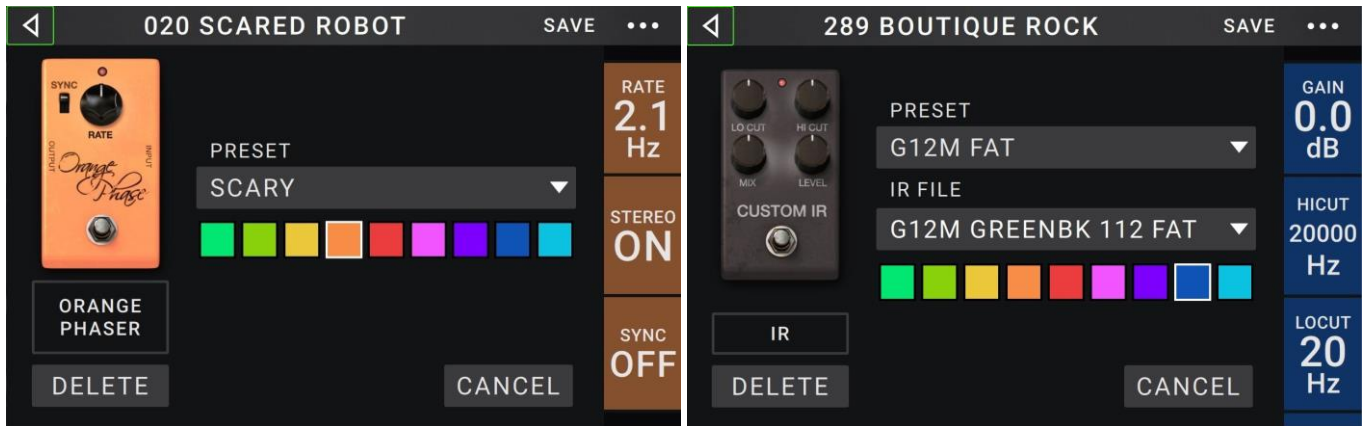




# HEADRUSH

## エフェクト

使用可能なエフェクトにはいくつかのタイプがあります。調整可能な設定は、エフェクトによって異なります。



## In

入力設定は、リグのモデルに入力される信号をコントロールします。:

**Preset:** 現在の入力プリセットであり、ディスプレイの右端のセッティングとロック/アンロックの状態が含まれます。

**Parameters:** このメニューは、これらの入力設定がロックされているか、されていないかを決定します。

“unlocked”を選択していると、新しいリグをロードするたびに新しいリグの入力設定に変更されます。メイン画面のロックアイコンはグレーで表示されます。

“locked”を選択している場合、設定はリグに関係なく“グローバル”入力設定として動作します。メイン画面のロックアイコンは赤色になります。

**Rig Input:** リグの入力信号をギター入力 (Guitar)、または右 (R)、リターン入力 (FX Ret R) からとるかを設定します。このメニューは、リグ入力が“Per Rig”に設定されている場合にのみ表示されます。詳細は [グローバル・セッティング](#) 参照してください。

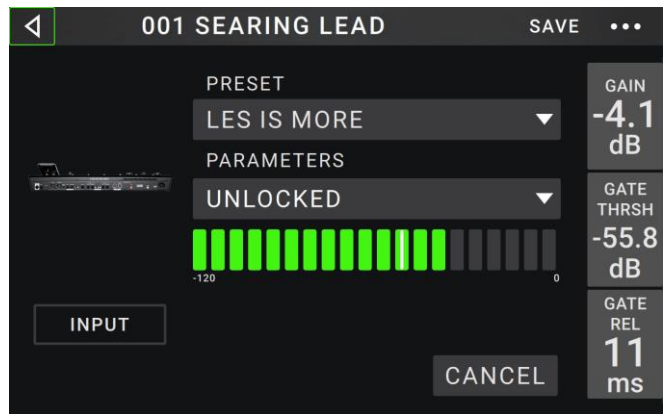
**Input Level Meter:** この画面に表示されている入力コントロールの前の入力信号の現在のレベルを表示します。

**Gain:** ギターからリグに送られる信号のゲインレベルをコントロールします。使用可能な範囲は、-60.0 ~ 12.0 dBです。

**Gate Thrsh (スレッシュールド):** ノイズゲートを開くために必要な信号レベルをコントロールし、ギター信号をリグに送ることができます。使用可能な範囲は、-120.0 ~ 0.0 dBまでです。スレッシュールドは、入力レベル・メーター上に白線で表示されます。

**Gate Rel (リリース):** 入力されたギター信号が停止した後にノイズゲートが閉じるまでの時間をコントロールします。使用可能な範囲は、1 ~ 3000 msまでです。

**USB Level:** コンピューターからHeadRush PedalboardにUSB接続を介して送られるオーディオ信号のレベルをコントロールします。使用可能な範囲は、-60.0 ~ 12.0 dBまでです。



# HEADRUSH

## Out

HeadRush Pedalboardの出力に送られる信号をコントロールします。:

**Preset:** 現在の出力プリセットでディスプレイの右側の設定を含んでいます。

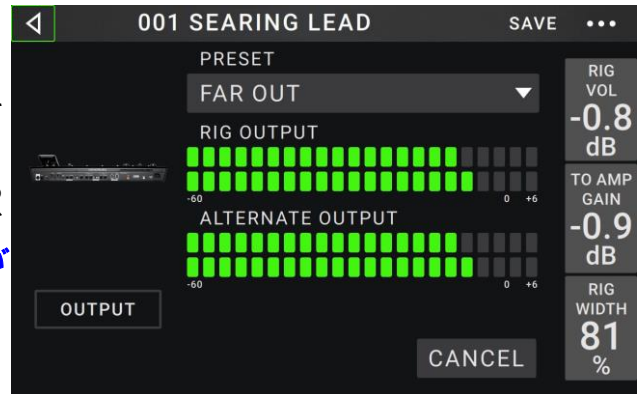
**Rig Output:** 画面に表示されている出力コントロールの後ろの現在のレベルを表示しています。グローバル・セッティング画面でこの信号を送信する設定を行えます。詳細は [グローバル・セッティング](#) 参照してください。

**Alternate Output:** 出力信号の現在のレベルを表示します。グローバル・セッティング画面でこの信号を送信する出力先を設定することができます。“To Amp Gain”は、オルタナイト出力がRig Inputに設定されていない限り、この信号のレベルをコントロールします。詳細は [グローバル・セッティング](#) 参照してください。

**Rig Vol (ボリューム):** 出力から送られるオーディオ信号のレベルをコントロールします。使用可能な範囲は-60.0 ~ 36.0 dBです。

**To Amp Gain:** オルタナイト出力がRig Inputに設定されていない限り、この信号のレベルをコントロールします。詳細は [グローバル・セッティング](#) 参照してください。使用可能な範囲は、-60.0 ~ 12.0 dBまでです。

**Rig Width:** 出力信号が使用するステレオフィールドの幅をコントロールします。100%は完全なステレオフィールドを使用し、0%はモノラル信号になります。これはステレオ・セッティングで使用した場合にのみ影響を与え、モノラル・セッティングでは影響がありません。HeadRush Pedalboardでステレオ信号、またはモノラル信号を処理する方法については、[メイン画面 > ステレオ vs. モノ](#)を参照してください。



## Mix

スプリット(分割)したシグナルパスのミックスをコントロールします。これらは、スプリットシグナルパスを持つリグでのみ使用可能です。詳細については、[メイン画面 > シグナルパス](#)を参照してください。:

**Preset:** 使用中のミックスプリセットで、ディスプレイの右側にその設定が表示されます。

**A Lev / B Lev (レベル):** シグナルパスの上側(A)と下側(B)のボリュームレベルをコントロールします。使用可能な範囲は-60.0 dB ~ +12.0 dBの間です。

**A Pan / B Pan:** シグナルパスの上側(A)と下側(B)のパン(ステレオフィールド内の位置)をコントロールします。使用可能な範囲は-100% ~ +100%です。

**A/B Delay:** シグナルパスの上側(A)と下側(B)のブランチ間のタイミング・オフセットをコントロールします。使用可能な範囲は -30000  $\mu$ s ~ +30000  $\mu$ sの間です。値がネガティブ(-)、Aブランチがディレイします。値がポジティブ(+)の場合Bブランチがディレイします。

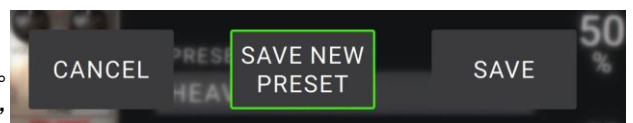


## プリセットの保存

プリセットを保存するには、右上隅の“Save”をタップしてください。

現在のプリセットへの変更を保存するには、“save”をタップしてください。

変更を新しいプリセットとして保存するには“Save New Preset”をタップし、表示されたキーボードを使用して名称を入力し、“Save”をタップしてください。



保存せずに前の画面に戻るには、“Cancel”をタップしてください。

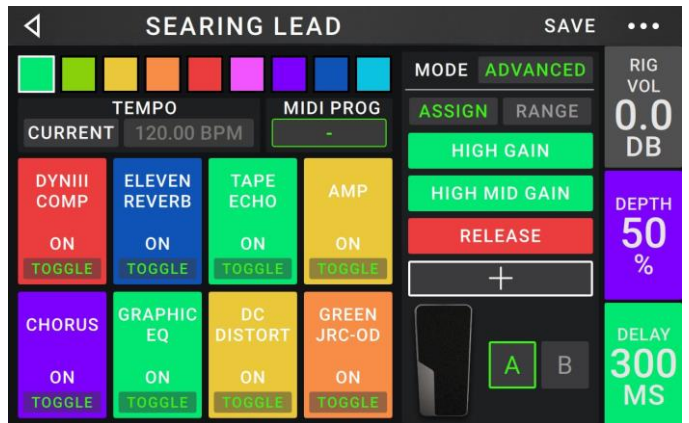
## ハードウェア・アサイン

ハードウェアアサイン画面では、HeadRush Pedalboardのフットスイッチ、エクスプレッションペダル、パラメーターノブが各リグがどのようにコントロールするかをカスタマイズすることができます。

ハードウェア・アサイン画面を開くには、メイン画面の右上隅にある●●● ボタンをタップし、“Hardware Assign”をタップしてください。

メイン画面に戻るには、左上隅の◀ボタンをタップしてください。

**重要：** ハードウェア・アサインの設定は、すべてがリグの一部なので、変更を保存することができます。



リグに設定されたカラーを変更するには、画面の左上隅をタップしてください。このカラーは、使用可能なすべてのリグのリストを表示する時、またはセッティングリストを表示して作成する時にリグ名の隣に表示されます。HeadRush Pedalboardがリグビューの場合、対応するフットスイッチ・インジケーターのカラーにもなります。

リグのタイムベースのエフェクト(ディレイ、モジュレーションなど)のテンポを設定するには、テンポの下のボタンをタップして“Current”または“Fixed”から選択してください。

**Current:** 最後に使用したテンポ、またはテンポフットスイッチで設定されたテンポを使用します。

テンポを設定するには、望ましいテンポでテンポフットスイッチ(右下の1つ)を1分当たりの拍数(BPM)で3~8回押し、新しいテンポを設定してください。

**Fixed:** リグで設定しているテンポを使用します。

テンポを設定するには、エンコーダーを回して希望のテンポを拍数(BPM)で設定することができます。ハードウェアアサイン画面でのみテンポの設定が可能です。

MIDI Progフィールドは、リグのMIDIプログラムチェンジ・ナンバーを決定します。HeadRush PedalboardがMIDIプログラムチェンジ・メッセージを送受信できるかどうかを判断するには、[グローバルセッティング画面のプログラムチェンジ・セッティング](#)を使用してください。詳細については、[グローバル・セッティング](#) > [MIDI セッティング](#)を参照してください。

MIDIプログラムチェンジ・ナンバーを設定するにはエンコーダーを回して値を0~127の間で入力してください。

**重要：** リグがナンバーを使用している場合、そのナンバーは使用できず、別のリグにアサインすることはできません。また、リグを新しい名前では保存するとリグは保存させますが、(同じナンバーを共有することを防ぐために)プログラムチェンジ・ナンバーは保存されません。

## フットスイッチ

左下の8つのボックスは、HeadRush Pedalboardの中央の8つのフットスイッチを表しています。シグナルチェーン内の位置に関わらず、任意のフットスイッチに任意のスイッチベースのパラメーター（2種類の状態のみを持つもの）を割り当てることができます。

### フットスイッチにパラメーターをアサインする:

1. ボックスをタップしてください。+ は、空のボックスであることを意味します。
2. 表示されたリストからアサインしたいモデルのパラメーターをタップしてください。
3. 表示されたリストの中から、アサインしたいパラメーターをタップしてください。通常、パラメーターは、オンになります（有効/無効の選択が可能）。  
“Unassigned X”をタップしてアサインを解除することができます。
4. ハードウェアアサイン画面でそのフットスイッチの“Toggle/Hold”をタップして動作方法を決定することができます。  
“Toggle”に設定すると、それぞれのボタンがモデルをオン/オフすることができます。  
“Hold”に設定すると、フットスイッチを押し続けるとオン、放すとオフになります。



2箇所のアサインを入れ替えるには、一つをタップし、ドラッグした後に放してください。

## クイックパラメーター

画面右端に3つのパラメーターフィールドが表示されます。これらはリグをロードするたびに最初に表示される3種類のパラメーターです。メイン画面でモデルが選択されていないときは、3つのパラメーター・ノブを回してこれらのパラメーターを調整することができます。これらのノブには、任意の連続可変パラメーター（オン/オフだけでなく、値の範囲の有するパラメーター）をアサインすることができます。

### パラメーターをパラメーター・ノブにアサインするには:

1. パラメーターを割り当てるフィールドをタップしてください。+ は空のフィールドを意味します。
2. 表示されたリストの中から、アサインしたいモデルのパラメーターをタップしてください。入力信号 (IN)、または出力信号 (OUT) のパラメーターを選択することも可能です。
5. 表示されたリストの中から、アサインしたいパラメーターをタップしてください。“Unassigned X”をタップしてアサインを解除することができます。



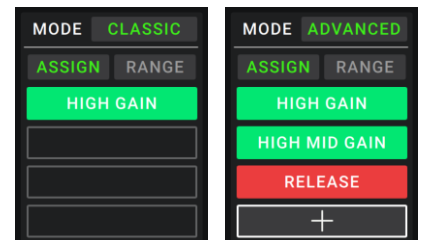
## エクスプレッションペダル

エクスプレッションペダルは、2種類のパラメーター（CLASSICモード）、または2つのパラメーターセット（ADVANCEDモード）をコントロールすることができます。トゥースイッチを使用してエクスプレッションペダルA、またはBを切替えることができます。

トゥースイッチを動作させるには、エクスプレッションペダルの“toe end”がペダルボードに 触れるように動かし、次に押し下げてください。エクスプレッションペダルのステータスLEDにA、またはBが表示されます。

4つのボックスの列は、エクスプレッションペダルの設定を表します。エクスプレッションペダルには、1つ、または複数の連続的に調整が可能なパラメーター（値の範囲を持つもの）をアサインすることができます。

エクスプレッションペダルのモードを設定するには、右上隅にあるボタンをタップして“Classic”または“Advanced”を選択してください。



**Classic:** 各エクスプレッションペダル(A/B)に1つのパラメーターをアサインすることができます。トゥースイッチを使用すると他のエクスプレッションペダルが選択され、現在のエクスプレッションペダルのパラメーターが無効（バイパス）になります。例えば、エクスプレッションペダルAにワウペダル、エクスプレッションペダルBにボリュームペダルをアサインした場合、そのうち、1つだけが有効になります。ワウペダルをコントロールしているときは、ボリュームペダルはバイパスされ、その反対も同じです。

**Advanced:** 各エクスプレッションペダル(A/B)に最大4種類のパラメーターをアサインすることができます。ペダルを動かすとアサインされたすべてのパラメーターが同時に調整されます。トゥースイッチを使用すると、他のエクスプレッションペダルが選択され、現在のペダルのパラメーターはアクティブのまま最大値になります。

**重要:** エクスプレッションペダルにアサインされているパラメーターはクラシック・モードではエディットすることができません（ロックアイコンが表示され、これを示すために他の画面ではグレーになります）。エクスプレッションペダルにアサインされているパラメーターはアドバンスモードでエディットすることができます（他の画面にペダルアイコンが表示されます）。

エクスプレッションペダルにパラメーターをアサインするには:

1. Assignボタンがオンになっていない場合はタップしてください。
2. Assignボタンの下のボックスをタップしてください。+は空のボックスを意味します。
3. 表示されたリストの中から、アサインしたいモデルのパラメーターをタップしてください。
4. 表示されたリストの中から、アサインしたいパラメーターをタップしてください。

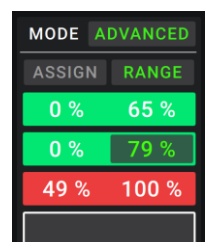


Unassigned X”をタップしてアサインを解除することができます。

アドバンスモード時に、2種類のアサインを交換するには、一つをタップし、ドラッグした後に放してください。

アサインしたパラメーターの範囲を設定する:

1. “Range”ボタンがオンでない場合、それをタップしてください。
2. “Range”ボタンの下の値をタップしてください。
3. エンコーダーを回して希望の値をパーセンテージで設定してください。エンコーダーを押すか、他の場所をタップして値を確定してください。



## SETLIST (セットリスト)

セットリストを使用してリグを整理することができます。セットリストは、保存して後で呼び出す事のできるリグを保存したコレクションです。これはパフォーマンスのためにリグの一部が必要な場合などに便利です。これらのリグだけのセットリストを保存可能なので、次の曲を演奏する前に使用するリグを検索する時間がなくなります。

セットリストを表示するには、メイン画面の左上隅にある ≡ ボタンをタップしてください。セットリスト画面が表示されます。メイン画面に戻るには、左上隅の ◀ ボタンをタップしてください。

### セットリストの作成:

1. 右上の“New”をタップしてください。
2. 表示された画面の左半分は、すべての利用可能なリグのリストで右半分は、セットリスト内のリグのリストです。

リグをセットリストに加えるには、それをタップしてリストの最後に加えてください。また、それをタップ & ホールドして、リスト内の目的の場所にドラッグしてください。同じリグを複数回セットリストに追加することができます。左上隅“Empty +”リグは、セットリストを簡単に並べ替えるためのプレースホルダーとして使用するためのスロットです。; セットリストのリグを移動させるときは、選択可能なリグとして使用することはできません。

セットリストを並べ替えるには、右半分オリストでリグをタップ & ホールドしてリスト内の目的の位置にドラッグしてください。

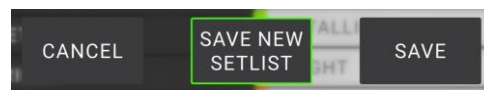
リグをセットリストから削除するには、右端の × をタップしてください。



セットリストを保存するには、右上隅にある“Save”をタップしてください。

現在のセットリストへの変更を保存するには“Save”タップしてください。

変更した内容を新しいセットリストとして保存するには、“Save New Setlist”をタップし、表示されたキーボードを使用して新しい名称を入力し“Save”をタップしてください。



保存せずに前の画面に戻るには、“Cancel”をタップしてください。

セットリストに加えた変更を破棄するには、左上隅の ◀ ボタンをタップし、“Discard Changes”をタップしてください。

### セットリストをロードする:

1. メイン画面を表示し、左上隅の ≡ ボタンをタップしてセットリスト画面を表示してください。各セットリストには、リグ数がカッコ内に表示されます(同じリグの複数インスタンスを含む)。
2. オプション: 左上隅の虫眼鏡アイコンをタップし、表示されるバーチャルキーボードを使用して検索ワード(セットリスト名の一部など)を入力してください。その結果は下部に表示されます。
3. 目的のセットリストをタップしてください。そのセットリストの最初のリグはすぐにロードされます。すべてのリグをタップすると、特定のセットリストの代わりにすべてのリグを表示することができます。



セットリストをエディットするには、左側の ●●● ボタンをタップし、鉛筆アイコンをタップしてください。セットリストを作成する時に使用したのと同じ画面が表示されます。この画面では、エディットや保存が可能です。

セットリストを削除するには、左側の ●●● ボタンをタップし、ごみ箱アイコンをタップしてください。削除を確定する場合は“Yes”をタップし、削除せずにセットリスト画面に戻るには、“Cancel”をタップしてください。

## HANDS-FREE MODE (ハンズフリー・モード)

ハンズフリー・モードでは、フットスイッチと、エクスプレッションペダルのみでモデルのセッティングを調整することができます。

ハンズフリー・モードに入るには、モデルにアサインされたフットスイッチを1秒以上押し続けてください。ハンズフリー・モードでは、画面に1つのパラメーターとその値が表示され、上部6つのフットスイッチは、そのモデルの6つのパラメーターに対応しています。

ハンズフリー・モードを終了するには、左下の(EXIT)フットスイッチを押してください。

値を変更するには、エクスプレッションペダルを動かしてください。

別のパラメーターを表示するには、対応するフットスイッチを押してください。そのモデルに6つ以上のパラメーターがある場合は、下部中央の2つのフットスイッチ(◀、▶)フットスイッチを押して前、または次の6つのパラメーターを表示させることができます。

ダブルアンプ、ダブルキャビ設定(2X)を使用している場合は、1▲▼2 フットスイッチを使用して2つのスイッチを切替えてください。



## LOOPER (ルーパー)

HeadRush Pedalboardには、演奏を重ねる用途で使用可能なルーパーが内蔵されています。ルーパーの操作はディスプレイに表示されますが、フットスイッチを使ってルーパーのほとんどの操作を便利にコントロール可能です。

ルーパーは、最大100レイヤーを重ねることができ、20分間のオーディオをホールドすることができます。

リグ名

◀ ▶ SEARING LEAD

録音、再生中のループ内の現在地を示します。

00:00.0 PLAY 20:00.0

MIX 50%

出力するルーパー信号の量をコントロールします。

FDBK 100%

別のレイヤーを録音する時にルーパーの信号がどれくらい後ろにずれるかを設定します。

SPEED 2X

ループの現在の速度をオリジナルの倍数、または分数で表示します。

LOOP LENGTH 1

現在のループの長さを表示します。

OVERDUB LAYERS 1

ORIGINALのループを含めて現在のループで再生されているレイヤーの数を表示します。

PLAYBACK REVERSE

再生方向を表示します。

# HEADRUSH

ループの最初のレイヤーを録音するにはレコード・フットスイッチを押してください。すぐに録音が始まり、フットスイッチのインジケーターが赤く点灯します。レコーディング・フットスイッチをもう一度押すと、録音を停止し、ループ再生を開始します。フットスイッチはオーバーダブとなり、フットスイッチ・インジケーターは黄色くなります。

追加のレイヤーをループに重ねて録音するには、オーバーダブ・フットスイッチを押してください。オーバーダビングがすぐに始まり、フットスイッチ・インジケーターが赤く点灯します。オーバーダビングを停止して再生を続けるにはオーバーダブ・フットスイッチをもう一度押してください。

ループの一番上の(最後に追加した)レイヤーを消去するには、“Peel”フットスイッチを押してください。ループの一番上のレイヤーはすぐに消去されます。このプロセスは、ディストラクティブ(破壊編集)なので、後から再追加することはできません。

パンチイン/パンチアウト機能のように一番上のレイヤーのセクションに録音するには、インサート・フットスイッチを押してください。録音がすぐに始まり、フットスイッチのインジケーターが赤く点灯します。インサート・フットスイッチをもう一度押して録音を停止し再生を続けます。これにより、一番上のレイヤーのそのセクションが上書きされます。

ループの長さを半減、または2倍にするには、それぞれ1/2ループ、または2Xループ・フットスイッチを押してください。ループの相対的な長さがループレングス・フィールドに表示されます。このプロセスは、非破壊編集で、“2X Loop”を押すとオリジナルのループとその内容を復元することができます。

ルーパーの速度を1/2、または2倍にするには、それぞれ“1/2 Speed”、または“2X Speed”フットスイッチを押してください。ループの相対速度が“Speed”フィールドに表示されます。

**ヒント:** 通常は再生できない低音や超高域を作成する時に使用します。

ルーパーの再生を逆回転させるには、“Reverse”フットスイッチを押してください。ルーパーの再生されている方向がプレーバック・フィールドに表示されます。

**ヒント:** 逆にレイヤーをレコーディングした後に通常の再生に戻すことで不思議なエフェクトを作り出すことができます。

ルーパーのミュート/ミュート解除は“Mute”フットスイッチを押してください。

ルーパーを終了してメイン画面に戻るには、“Exit”フットスイッチを押してください。ルーパーが再生されている場合は、再生が継続されます。ルーパーのフットスイッチを1秒間押し続けるとルーパーに再入力せずにルーパーの再生を停止することができます。

“Looper”フットスイッチをもう一度押すだけでルーパーに再入力可能になります。

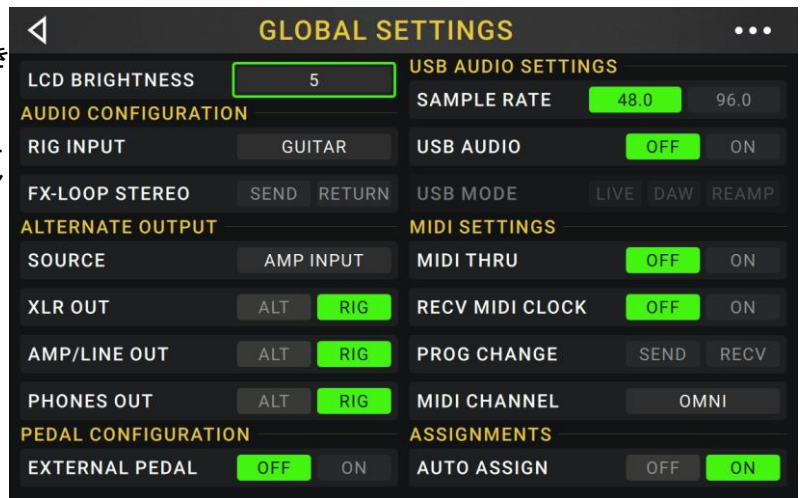
**ヒント:** この機能を使用してレイヤーごとに異なるエフェクト・セッティング(パラメーターの調整、モデルのオン/オフ等)を作成し異なった質感を加えることができます。ルーパーを使用しながらリグを変更し、各レイヤーに異なるリグを使用する事も可能です。



## GLOBAL SETTINGS (グローバル・セッティング)

グローバル・セッティングを使用してHeadRush Pedalboardの全体的なセッティングを行うことができます。

グローバル・セッティングを表示するには画面右上にある●●●ボタンをタップし、グローバル・セッティングをタップしてください。



**LCD Brightness:** メイン画面の明るさを設定します。このフィールドをタップしてエンコーダーを回し1(暗)~5(明)を調整し、エンコーダーを押してください。

**オーディオ・コンフィグレーション:**

**Rig Input:** この設定は、各リグの入力信号をギター入力(ギター)、または右(R)リターン入力(FX Ret R)から取るかを決定します。“Per Rig”に設定するとソースは各リグの入力設定で決定できるようになります(詳細については、[セッティングの調整 > イン](#)を参照してください)。“FX Ret R”、または“Per Rig”に設定すると、FXループ・ステレオリターンの設定は、無効になりモノラルになります。

**FX-Loop Stereo:** エフェクト・ループの入出力信号がステレオかモノラルかを決定します。“Send”をタップするとSEND出力のステレオ信号の有効/無効を切り替えることができます。リターン入力のステレオ信号の有効/無効を切り替えるには、“Return”をタップしてください。

**Alternate Output:** 各出力から送信される信号を決定します。

**Source:** エンコーダーを使って、オルタネート出力を取り込むシグナルパスのポイントを設定します。: Rig Input、Amp Input(デフォルト)、Amp Output、Cab Input、Cab Output、IR Input、Amp 2 Input、Amp 2 Output、Cab 2 Input、Cab 2 Output、IR 2 Input

**XLR Out:** XLR出力が、リグ出力信号(Rig)、またはオルタネート出力信号(Alt)を送信するかを決定します。

**Amp/Line Out:** 1/4” (6.35 mm)出力が、リグ出力信号(Rig)、またはオルタネート出力信号(Alt)を送信するかを決定します。

**Phones Out:** フォン出力が、リグ出力信号(Rig)、またはオルタネート出力信号(Alt)を送信するかを決定します。

**ペダル・コンフィグレーション:**

**External Pedal:** HeadRush Pedalboardで、外部エクスプレッションペダルを使用するかどうかを決定します。

**On:** 内蔵エクスプレッションペダルはバンクAのパラメーターをコントロールし、外部エクスプレッションペダルは、バンクBをコントロールします(エクスプレッションペダルのクラシック・モードを使用している場合、トゥースイッチを押すとパラメーターの有効/無効を切り替えることができます、アドバンス・モードを使用している場合、トゥースイッチは無効になります)。

**Off:** エクスプレッションペダル入力が無効になり、内蔵エクスプレッションペダルのみの使用が可能になります。

**USBオーディオのセッティング:**

**Sample Rate:** USBオーディオ信号のサンプルレートを**48.0 kHz**、または**96.0 kHz**から選択することができます。DAWのサンプルレートと同じサンプルレートを選択してください。また、DAWを開く前に設定してください。

**USB Audio:** HeadRush pedalboardがUSB接続経由でUSBオーディオを送信するかどうかを設定します。オンをタップすると、選択したサンプルレートでUSBオーディオを送信します。オフをタップするとUSBオーディオ信号は無効になります（サンプルレートを変更するには、まずUSBオーディオをオフにし、正しいサンプルレートを選択した後にUSBオーディオをオンに戻してからDAWを再起動させてください）。

**USB Mode:** HeadRush PedalboardがUSB接続からどのようにオーディオ信号を送信するか、また出力がどのように機能するかを設定します。:

**Live:** オーディオ信号は、HeadRush Pedalboardの出力と同じものがコンピューターに送られます。

**DAW:** オーディオ信号はコンピューターのみに送信されます。HeadRush Pedalboardの出力は、モニター中のレイテンシーを防ぐために無効になります。

**Reamp:** お使いのコンピューターからHeadRush Pedalboardにオーディオ信号を送り、現在のリグを使用して処理をした後にコンピューターに戻します。HeadRush Pedalboardの出力は、モニター中のレイテンシーを防ぐために無効になります。この処理をDAWで設定する方法については、[リアンプ](#)を参照してください。

**MIDIセッティング:** HeadRush Pedalboardが外部デバイスとの間でMIDI情報を送受信する方法を決定します。この設定は、HeadRush PedalboardのMIDI入出力にのみ影響します。

**MIDI Thru:** “On”をタップすると、MIDI出力がMIDIスルーとして機能します。; HeadRush PedalboardのMIDI入力に送られたMIDI情報を、直接MIDI出力(スルー)に送ります。HeadRush PedalboardのMIDI出力を正しく機能させたい場合は“Off”をタップしてください。; HeadRush PedalboardはMIDI出力から、独自のMIDI情報のみを送信します。

**Recv MIDI Clock:** “On”をタップすると、HeadRush PedalboardがMIDIクロック情報を受信するようになります。“Off”をタップすると、HeadRush Pedalboardの内蔵MIDIクロックを使用します。これは外部に送信できません。

**Prog Change:** 左上(Rig ▲)または左下(Rig ▼) スイッチを押すとHeadRush PedalboardのMIDIプログラムチェンジ・メッセージの送信の有効/無効を切替えます。“Recv”をタップすると、HeadRush Pedalboardが外部MIDI機器からのMIDIプログラムチェンジ・メッセージを受信するようになります。

**MIDI Channel:** HeadRush PedalboardがMIDIメッセージを送受信するMIDIチャンネルを決定します。このフィールドをタップしてエンコーダーを回してチャンネル1~16, またはOmni(すべて)を選択し、エンコーダーを押してください。

**アサイン:**

**Auto Assign:** モデルがどのようにスイッチにアサインされるかを決定します。モデルをロードする時に使用可能なスイッチに自動的にモデルをアサインするには“On”をタップしてください。モデルをスイッチにアサインせずにロードする場合は、“Off”をタップしてください。その場合、ハードウェアアサイン画面で手動でアサインする必要があります。

## USB

コンピューターとHeadRush PedalboardをUSB接続して使用方法をファイルやセッティング(リグ、セットリスト、プリセットなど)の転送、**レコーディング**(デジタルワークステーション[DAW])、**リアンプ**から選択可能です。

### ファイルとセッティングの転送

USB接続することで、コンピューターとHeadRush Pedalboardの間でリグ、セットリスト、モデルプリセット、インパルスレスポンス(IR)ファイルを転送することができます。

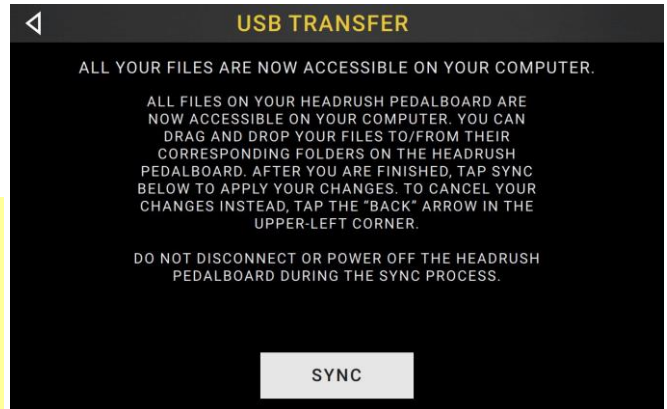
変更を加える前に、ファイルのバックアップ・コピーをコンピューター内に作成することをお勧めします。

#### 重要:

処理中にHeadRush Pedalboardを外したり、電源を落としたりしないでください。

サポートされていないファイルは無視されます。

リグ、セットリスト、モデルプリセット、インパルスレスポンス・ファイルのファイル構造を整理して、HeadRush Pedalboardの“drive”に表示されているファイル構造と同じようにすることをお勧めします。



#### HeadRush Pedalboardとコンピューターの間でファイルを転送する:

1. 標準のUSBケーブルを使用してコンピューターとHeadRush PedalboardのUSBポートを接続してください。
2. コンピューターの電源を入れた状態で電源スイッチを使用してHeadRush Pedalboardの電源を入れてください。
3. 画面の右上隅にある●●●ボタンをタップしてグローバル・セッティングをタップしてください。
4. グローバル・セッティング画面で右上隅にある●●●ボタンをタップして“USB Transfer”をタップしてください。お使いのコンピューター上で、HeadRush Pedalboardは、HeadRushという大容量記憶装置として表示されます。

Windowsユーザー: はじめてコンピューターに接続した場合、ドライバーをインストールするまで約1分間待つ必要があります。

5. HeadRushドライブを開いてください。HeadRushとコンピューターとの間で自由にコンテンツ(ファイル)をクリックしてドラッグすることができます。HeadRushの内容に加えた変更は、次の手順の後まで確定するわけではありませんが、コンピューター上のファイルへの変更はすべて即時に行われます。
6. HeadRushの内容の変更を適用するには、“Sync”をタップしてください。これは行った変更を確定します。HeadRush Pedalboardがファイルを分析し、インポートするとディスプレイ上のメーターに進行状況が表示されます。この手順が終了すると、再び通常のグローバル・セッティング画面が表示されます。

HeadRushの変更をキャンセルするには、左上隅の<をタップしてください。これにより変更がキャンセルされます。ただし、コンピューター上のファイルに対する変更に変わりはありません。

## レコーディング

HeadRush PedalboardのUSBポートをコンピューターに接続している場合、HeadRush Pedalboardを24ビット・オーディオインターフェイスとして使用することができ、オーディオを再生したり、オーディオ信号をコンピューターに送信することができます。サンプルレートは48 kHz、または96 kHzを使用可能です。

**Windowsユーザーへの重要な注意:** HeadRush Pedalboardをコンピューターに接続する前に[headrushfx.com/support](https://headrushfx.com/support)から必要なドライバーをダウンロードしてインストールしてください。

HeadRush Pedalboardをコンピューターのオーディオインターフェイスとして使用するには、コンピューターのコントロールパネル(Windows)、またはシステム環境設定(Mac OS X)を開き、サウンド/オーディオ設定を開き、HeadRush Pedalboardが録音または再生/出力に使用できるよう選択してください。

HeadRush Pedalboardは、4つの別々のオーディオ信号をコンピューターに送信することができます。HeadRush Pedalboardのオーディオ信号をデジタルオーディオワークステーション(DAW)で録音する前に録音するチャンネルを選択してください。:

- 1: すべての有効なエフェクトが適用されたマスター出力の左チャンネル
- 2: すべての有効なエフェクトが適用されたマスター出力の右チャンネル
- 3: エフェクトが適用されていないギター入力のモノラル・チャンネル
- 4: 3と同じオーディオ信号

HeadRush Pedalboardは、4つの別々のオーディオ信号をコンピューターから受信することができます。各チャンネルの名称は以下の通りです。:

- 1: コンピューターの出力オーディオ信号の左チャンネル。HeadRush Pedalboardのマスター出力とフォン出力から直接送信されます。
- 2: コンピューターの出力オーディオ信号の右チャンネル。HeadRush Pedalboardのマスター出力とフォン出力から直接送信されます。
- 3: コンピューターのオーディオ信号のモノラルチャンネルでHeadRush Pedalboardを通り、送り返されます(下記の[リアンプ](#)を参照してください)。
- 4: 使用できません。

**重要:** DAWのマスター出力を1/2に設定することを忘れないでください。

## リアンプ

リアンプは、録音済みのオーディオ信号にアンプの音色を加えるプロセスです。この場合、DAWからHeadRush Pedalboardを通してオーディオを送信し、DAWに再度録音を行いません。これはすでに録音したギタートラックのサウンドを再度演奏することなく音色を変更することができるため、時間を節約するために便利です。

HeadRush Pedalboardを使用してオーディオ信号をリアンプする:

1. DAWで、録音/入力と再生/出力の両方のオーディオインターフェイスとしてHeadRush Pedalboardが選択されていることを確認してください。
2. 目的のトラックの出力先を3にアサインしてください。
3. HeadRush Pedalboardの画面右上隅にある●●● ボタンをタップし、グローバルセッティングをタップしてください。
4. グローバルセッティング画面の“USB Mode”の次にある“Reamp”をタップしてください。  
また、サンプルレートがDAWと同じサンプルレートに設定されていることを確認してください。サンプルレートを変更するには、まずUSBオーディオをオフに設定し、正しいサンプルレートを選択した後に再びUSBオーディオをオンに設定してDAWを再起動してください。
5. DAWで新しいオーディオトラックを作成し、その入力をアサインしてください。ステレオ入力信号の場合は、1/2を選択してください。モノラル入力信号の場合は1を選択してください。
6. リアンプを開始するトラック内のポイントをロケートしてください。
7. HeadRush Pedalboardでリグ、モデル、または他のパラメーターを選択して目的のサウンドを作成してください。
8. DAWで録音を開始してください。リアンプするトラックは、HeadRush Pedalboardを通して送信され、5で作成したオーディオトラックに録音されます。

## 技術仕様

フットスイッチ	(12) カラーLED & OLEDディスプレイ付きフットスイッチ	
ペダル	(1) エクスプレッションペダル	
ノブ	(1) 300° マスターボリュームノブ (1) 300° ヘッドホンボリュームノブ (1) 300° AUXボリュームノブ (1) 360° ナビゲーション・データエンコーダー (3) 360° パラメーターエンコーダー	
ディスプレイ	メイン	(1) タッチインターフェース搭載フルカラー 176 mm (対角) 150 x 93 mm (幅 x 高さ)
	OLED	(12) モノクロOLEDディスプレイ 30 mm (対角) 28 x 11 mm (幅 x 高さ)
端子	(1) 1/4" (6.35 mm) TS入力(ギター) (1) 1/4" (6.35 mm) TRS入力(追加エクスプレッションペダル) (1) 1/8" (3.5 mm) ステレオ入力(AUX) (2) XLR 出力(グラウンドリフトスイッチ付き) (2) 1/4" (6.35 mm) TRS 出力(アンプまたはラインレベル) (2) 1/4" (6.35 mm) TRS 出力(センド) (2) 1/4" (6.35 mm) TRS 入力(リターン) (1) 5-pin MIDI 入力 (1) 5-pin MIDI 出力・スルー (1) USB Type-B 端子 (1) IEC 電源ケーブル端子	
電源	端子	IEC
	電圧	100–240 V, 50/60 Hz, 1.2 A
サイズ (幅 x 奥行き x 高さ)	23.6" x 11.2" x 2.9" 59.9 x 28.4 x 7.4 cm	
重量	15.7 lbs.	
	7.1 kg	

仕様は断りなく変更になる場合がございます。

## 商標およびライセンス

HeadRushは、inMusic Brands, Inc.の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

AvidおよびElevenは、米国およびその他の国々において、Avid Technology, Inc.の商標または登録商標です。

その他すべての製品名、会社名、商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

[inmusicbrands.jp/headrush/](http://inmusicbrands.jp/headrush/)

# 保証書

# HEADRUSH

製品名：HEADRUSH PEDALBOARD

inMusic Japan 株式会社  
カスタマー・サポート

製造番号：

〒106-0047 東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビル 6F  
TEL：03-6277-2231

ご購入日\*：

本書の\*印欄に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

保証期間：ご購入日から 1 年間

本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。  
本書は日本国内においてのみ有効です。

お客様\*

販売店印\*

お名前：

ご住所：

お電話：

切り取り線

## < 無料修理規定 >

# HEADRUSH

1. 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。なお、出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
2. ご贈答品などで本書に記入してあるお買上げ販売店に修理ができない場合には弊社カスタマー・サポート部へご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) ご使用上の誤り、及び不当の修理や改造による故障および損傷。
  - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
  - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
  - (ニ) 消耗部品を取替える場合。(例えば、カートリッジやベルト等)
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にご要用語名、お買上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

- ・ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社カスタマー・サポートへご相談ください。

### ・ 問い合わせ先：

**inMusic Japan 株式会社 カスタマー・サポート**  
〒106-0047 東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビル 6F  
TEL：03-6277-2231  
<http://inmusicbrands.jp/headrush/>